

目標達成計画

作成日: 2020年 1月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害訓練は現在事業所職員のみで行っている。地域の自警隊と協力体制の話し合いは出来ているが、実際の訓練時に自警隊の方が参加した事はない。	3月に消防署職員立ち合いの避難訓練を予定している。地域の方にも参加してもらう。	事前に区長、自警隊、家族に案内を出して出来るだけ多くの方に参加してもらう。	2ヶ月
2	49	施設の行事以外の外出が特定の方しかない。扶養者が遠方や高齢だったり、兄弟や姪、甥等になり家族の関係性が希薄になってきている事も要因になっている。	本人のやりたい事や行きたい所を把握し個別に対応できるようにする。	家族の協力が望める方は積極的に本人の要望を家族に伝え実現できるように援助する。家族対応が難しい方に対しては職員が本人の望む外出やしたい事が一年に一度でも実現できるように援助していく。	12ヶ月
3	33	看取り介護の指針はあるものの法人内に老人保健施設や療養型があるため、実際にターミナルケアを行った事例はないため職員の経験値も少ない。	看取り介護が行われる事になっても対応できるように職員の力を底上げしたい。	看取り介護の研修に参加する。職員間でも話し合い看取り介護に対する意識を持ち技術向上を図る。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。